



2022 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 高橋 広
コード番号 6707 (東証 プライム市場)
問 合 せ 先 I R 部 長 岩田 卓也
T E L (048)472-1111

**連結子会社への一部事業譲渡
(アレグロ社製品の日本地区での販売活動の見直し) に関するお知らせ**

サンケン電気株式会社 (以下、「当社」と言います。) は、本日開催の取締役会において、米国子会社であるアレグロ マイクロシステムズ LLC (以下、「アレグロ社」と言います。) 製品の日本地区における販売活動 (以下、「本事業」) に関し、当社からアレグロ社に譲渡 (以下、「商流移管」と言います。) することを決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

これにより、現在は当社個別業績に含まれる本事業の収益は、商流移管完了後はアレグロ社に帰属することになりますが、これに伴い当社グループ体制に変更はございません。

記

1. 実施の背景・理由

アレグロ社製品の日本市場における販売は、当社が歴史的に築いてきた優良な顧客基盤を活用することで、販売面でのシナジー効果を創出してまいりました。近年は、アレグロ社が自らの技術サポートセンターを日本に置き、日本顧客に対する製品の技術支援体制を構築しております。また、アレグロ社の親会社である米国アレグロ マイクロシステムズ インクは、2020 年 10 月に米国ナスダック市場に上場しており、「アレグロ」の知名度・信用度は飛躍的に向上しております。

近年の日本市場におけるアレグロ社製品への需要は車載市場を中心に増加しており、また、製品仕様や各顧客における製品用途は複雑さを増しております。こうした状況から、アレグロ社が直接的に本事業を担い、技術支援を含むトータル・ビジネスサポートを提供することが、グループとしての企業価値向上の観点で最適であると判断いたしました。当社主体のサンケンコア製品の開発・販売と、アレグロ社主体のアレグロコア製品の開発・販売という区別の明確化により、当社グループは、事業遂行のスピードアップ、効率性と収益性向上を実現させ、従来に増してグローバルな成長戦略を描いて行けるものと考えております。なお、当社とアレグロ社による開発面での協業活動やチップ調達安定化に向けたグループ・ファブの共同運営体制は、今後も継続してまいります。

2. 商流移管の概要

(1) 事業内容： アレグロ社製品の日本地区における販売活動

(2) 本事業の経営成績 (2022 年 3 月期実績)

	本事業の業績(a)	連結業績(b)	比率(a/b)
売上高	16,582 百万円	175,660 百万円	9.4%

(注) 譲渡事業の営業利益等につきましては、本事業単位での収益を算定していないため記載しておりません。

(3) 譲渡する予定の資産、価額及び決済方法

商流移管に伴う譲渡対象資産の帳簿価額等を基礎として当事者間で協議のうえ今後決定します。また、決済方法につきましても当事会社間で協議のうえ決定します。

3. 相手先の概要

(1) 名称	アレグロ マイクロシステムズ LLC	
(2) 所在地	955 Perimeter Road, Manchester, NH 03103	
(3) 代表者	Vineet Nargolwala	
(4) 事業内容	半導体デバイス製品の開発、製造及び販売	
(5) 資本金	43 百万米ドル	
(6) 設立年月	1990 年 12 月	
(7) 親会社及び持分比率	アレグロ マイクロシステムズ インク 100%	
(8) 上場会社と 当該会社との関係	資本関係	当社はアレグロ マイクロシステムズ インクを通じ、51.5%の持分を間接保有しております。
	人的関係	当社従業員 1 名が出向しております。
	取引関係	当社はアレグロ社製品の日本地区での販売等を行っております。
	関連当事者 への該当状況	当社の連結子会社であります。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2022 年 9 月 28 日
(2) 契約締結日	2022 年 9 月 28 日
(3) 商流移管完了日	2023 年 3 月 31 日 (予定)

5. 今後の見通し

上記の商流移管は当社及び当社の連結子会社を当事会社とするため、連結業績への影響は軽微であります。

以 上